

- 第 32 回 スイス、ジュネーヴ、1985 年 6 月 27 日－28 日  
第 33 回 イタリア、ローマ、July 1986 年 6 月 30 日－7 月 4 日

会議

開催場所・日付

- 第 34 回 イタリア、ローマ、1987 年 6 月 26 日－26 日  
第 35 回 スイス、ジュネーヴ、1988 年 7 月 4 日－8 日  
第 36 回 スイス、ジュネーヴ、1989 年 6 月 29 日－30 日  
第 37 回 イタリア、ローマ、1990 年 7 月 3 日－6 日  
第 38 回 イタリア、ローマ、1991 年 6 月 27 日－28 日  
第 39 回 スイス、ジュネーヴ、1992 年 6 月 30 日－7 月 3 日  
第 40 回 スイス、ジュネーヴ、1993 年 6 月 24 日－25 日  
第 41 回 イタリア、ローマ、1994 年 6 月 28 日－30 日  
第 42 回 イタリア、ローマ、1995 年 6 月 28 日－30 日  
第 43 回 スイス、ジュネーヴ、1996 年 6 月 4 日－7 日  
第 44 回 スイス、ジュネーヴ、1997 年 6 月 19 日－20 日  
第 45 回 イタリア、ローマ、1998 年 6 月 3 日－5 日  
第 46 回 イタリア、ローマ、1999 年 6 月 24 日－25 日  
第 47 回 スイス、ジュネーヴ、2000 年 6 月 28 日－30 日  
第 48 回 スイス、ジュネーヴ、2001 年 6 月 28 日－29 日  
第 49 回 スイス、ジュネーヴ、2001 年 9 月 26 日－27 日<sup>35</sup>  
第 50 回 イタリア、ローマ、2002 年 6 月 26 日－28 日  
第 51 回 スイス、ジュネーヴ、2003 年 2 月 10 日－11 日<sup>29</sup>  
第 52 回 イタリア、ローマ、2003 年 6 月 26 日－27 日  
第 53 回 スイス、ジュネーヴ、2004 年 2 月 4 日－6 日  
第 54 回 スイス、ジュネーヴ、2004 年 6 月 24 日－26 日  
第 55 回 イタリア、ローマ、2005 年 2 月 9 日－11 日  
第 56 回 イタリア、ローマ、2005 年 6 月 30 日－7 月 2 日

---

<sup>35</sup> 臨時会議。

---

## コーデックス委員会 下部組織

---

### 規則 XI.1(a)の下に設置された下部組織

#### 乳・乳製品をめぐる原則規範に関する FAO/WHO 合同政府専門家委員会 (CX-703)

1958年にFAOとWHOによって創設され、1962年に規則 XI.1(a)の下に、コーデックス委員会の下部組織としてFAO/WHO合同食品規格計画に統合された。1993年に「コーデックス乳・乳製品部会」と名称を改め、規則 XI.1(b)(i)に定める下部組織として改めて設置された(第I部「手続き規則」を参照のこと)。

#### 会議

第1回	イタリア、ローマ、1958年9月8日-12日
第2回	イタリア、ローマ、1959年4月13日-17日
第3回	イタリア、ローマ、1960年2月22日-26日
第4回	イタリア、ローマ、1961年3月6日-10日
第5回	イタリア、ローマ、1962年4月2日-6日
第6回	イタリア、ローマ、1963年6月17日-21日
第7回	イタリア、ローマ、1964年5月4日-8日
第8回	イタリア、ローマ、1965年5月24日-29日
第9回	イタリア、ローマ、1966年6月20日-25日
第10回	イタリア、ローマ、1967年8月25日-31日
第11回	イタリア、ローマ、1968年6月10日-15日
第12回	イタリア、ローマ、1969年7月7日-12日
第13回	イタリア、ローマ、1970年6月15日-20日
第14回	イタリア、ローマ、1971年9月6日-11日
第15回	イタリア、ローマ、1972年9月25日-30日
第16回	イタリア、ローマ、1973年9月10日-15日
第17回	イタリア、ローマ、1975年4月14日-19日
第18回	イタリア、ローマ、1976年9月13日-18日
第19回	イタリア、ローマ、1978年6月12日-17日
第20回	イタリア、ローマ、1982年4月26日-30日
第21回	イタリア、ローマ、1986年6月2日-6日
第22回	イタリア、ローマ、1990年11月5日-9日

所掌範囲：

乳・乳製品に関する国際的な規範および規格を設定すること。

### 規則 XI.1(b)(i)の下に設置された下部組織

コーデックス一般原則部会 (CX-716)

議長国：フランス

会議：

- |      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 第1回  | パリ、1965年10月4日－8日                 |
| 第2回  | パリ、1967年10月16日－19日               |
| 第3回  | パリ、1968年12月9日－13日                |
| 第4回  | パリ、1974年3月4日－8日                  |
| 第5回  | パリ、1976年1月19日－23日                |
| 第6回  | パリ、1979年10月15日－19日               |
| 第7回  | パリ、1981年4月6日－10日                 |
| 第8回  | パリ、1986年11月24日－28日               |
| 第9回  | パリ、1989年4月24日－28日                |
| 第10回 | パリ、1992年9月7日－11日                 |
| 第11回 | パリ、1994年4月25日－29日                |
| 第12回 | パリ、1996年11月25日－28日               |
| 第13回 | パリ、1998年9月7日－11日                 |
| 第14回 | パリ、1999年4月19日－23日                |
| 第15回 | パリ、2000年4月10日－14日                |
| 第16回 | パリ、2001年4月23日－27日                |
| 第17回 | パリ、2002年4月15日－19日                |
| 第18回 | パリ、2003年4月7日－11日                 |
| 第19回 | パリ、2003年11月17日－21日 <sup>36</sup> |
| 第20回 | パリ、2004年5月3日－7日                  |
| 第21回 | パリ、2004年11月8日－12日 <sup>36</sup>  |
| 第22回 | パリ、2005年4月11日－15日                |

所掌範囲：

コーデックス委員会から付託された手続き上の問題や一般的問題に対処すること。かかる問題には、以下のようなものが挙げられる：コーデックス食品規格集の目的や適用範囲、

---

<sup>36</sup> 臨時会議。

コーデックス規格の性質、各国によるコーデックス規格の承認形態を定める一般原則の設定。コーデックス部会のためのガイドライン作成。個々の規格の一部やその規定の一部が自国の経済にもたらす意味合いについて各国政府から提出された、経済的影響評価を検討するシステムの設置。国際食品貿易のための倫理規範の設定。

#### コーデックス食品添加物・汚染物質部会 (CX-711)

議長国：オランダ

会議：

- |      |                         |
|------|-------------------------|
| 第1回  | ハーグ、1964年5月19日－22日      |
| 第2回  | ハーグ、1965年5月10日－14日      |
| 第3回  | ハーグ、1966年5月9日－13日       |
| 第4回  | ハーグ、1967年9月11日－15日      |
| 第5回  | アルンヘム、1968年3月18日－22日    |
| 第6回  | アルンヘム、1969年10月15日－22日   |
| 第7回  | ハーグ、1970年10月12日－16日     |
| 第8回  | ワーゲニンゲン、1972年5月29日－6月2日 |
| 第9回  | ワーゲニンゲン、1973年12月10日－14日 |
| 第10回 | ハーグ、1975年6月2日－7日        |
| 第11回 | ハーグ、1977年5月31日－6月6日     |
| 第12回 | ハーグ、1978年10月10日－16日     |
| 第13回 | ハーグ、1979年9月11日－17日      |
| 第14回 | ハーグ、1980年11月25日－12月1日   |
| 第15回 | ハーグ、1982年3月16日－22日      |
| 第16回 | ハーグ、1983年3月22日－28日      |
| 第17回 | ハーグ、1984年4月10日－16日      |
| 第18回 | ハーグ、1985年11月5日－11日      |
| 第19回 | ハーグ、1987年3月17日－23日      |
| 第20回 | ハーグ、1988年3月7日－12日       |
| 第21回 | ハーグ、1989年3月13日－18日      |
| 第22回 | ハーグ、1990年3月19日－24日      |
| 第23回 | ハーグ、1991年3月4日－9日        |
| 第24回 | ハーグ、1992年3月23日－28日      |
| 第25回 | ハーグ、1993年3月22日－26日      |
| 第26回 | ハーグ、1994年3月7日－11日       |
| 第27回 | ハーグ、1995年3月20日－24日      |

第 28 回	フィリピン、マニラ、1996 年 3 月 18 日－22 日
第 29 回	ハーグ、1997 年 3 月 17 日－21 日
第 30 回	ハーグ、1998 年 3 月 9 日－13 日
第 31 回	ハーグ、1999 年 3 月 22 日－26 日
第 32 回	中国、北京、2000 年 3 月 20 日－24 日
第 33 回	ハーグ、2001 年 3 月 12 日－16 日
第 34 回	ロッテルダム、2002 年 3 月 11 日－15 日
第 35 回	タンザニア、アルーシャ、2003 年 3 月 17 日－21 日
第 36 回	ロッテルダム、2004 年 3 月 22 日－26 日
第 37 回	ハーグ、2005 年 4 月 25 日－29 日

**所掌範囲：**

- (a) 食料品および動物飼料に含まれる個々の食品添加物、汚染物質（環境汚染物質を含む）、天然の有毒物質について、その最大許容濃度または指針濃度を設定・承認すること。
- (b) 食品添加物に関する FAO/WHO 合同専門家委員会による毒性評価のために、食品添加物・汚染物質の優先順位リストを作成すること。
- (c) コーデックス委員会が採択すべき食品添加物の特質と純度に関する仕様を推奨すること。
- (d) 食品中の食品添加物を測定するための分析方法を検討すること。
- (e) 食品添加物を食品添加物として販売する場合の表示や食品照射など関連する事柄について、規格や規範の検討と策定を行うこと。

**コーデックス食品衛生部会 (CX-712)**

**議長国：米国**

**会議：**

第 1 回	ワシントン D.C.、1964 年 5 月 27 日－28 日
第 2 回	ローマ、1965 年 6 月 14 日－16 日
第 3 回	ローマ、1966 年 5 月 31 日－6 月 3 日
第 4 回	ワシントン D.C.、1967 年 6 月 12 日－16 日
第 5 回	ワシントン D.C.、1968 年 5 月 6 日－10 日
第 6 回	ワシントン D.C.、1969 年 5 月 5 日－9 日
第 7 回	ワシントン D.C.、1970 年 5 月 25 日－29 日
第 8 回	ワシントン D.C.、1971 年 6 月 14 日－18 日

- 第9回       ワシントン D.C.、1972年6月19日－23日
- 第10回      ワシントン D.C.、1973年5月14日－18日
- 第11回      ワシントン D.C.、1974年6月10日－14日
- 第12回      ワシントン D.C.、1975年5月12日－16日
- 第13回      ローマ、1976年5月10日－14日
- 第14回      ワシントン D.C.、1977年8月29日－9月2日
- 第15回      ワシントン D.C.、1978年9月18日－22日
- 第16回      ワシントン D.C.、1979年7月23日－27日
- 第17回      ワシントン D.C.、1980年11月17日－21日
- 第18回      ワシントン D.C.、1982年2月22日－26日
- 第19回      ワシントン D.C.、1983年9月26日－30日
- 第20回      ワシントン D.C.、1984年10月1日－5日
- 第21回      ワシントン D.C.、1985年9月23日－27日
- 第22回      ワシントン D.C.、1986年10月20日－24日
- 第23回      ワシントン D.C.、1988年3月21日－25日
- 第24回      ワシントン D.C.、1989年10月16日－20日
- 第25回      ワシントン D.C.、1991年10月28日－11月1日
- 第26回      ワシントン D.C.、1993年3月1日－5日
- 第27回      ワシントン D.C.、1994年10月17日－21日
- 第28回      ワシントン D.C.、1995年11月27日－12月1日
- 第29回      ワシントン D.C.、1996年10月21日－25日
- 第30回      ワシントン D.C.、1997年10月20日－24日
- 第31回      フロリダ州オーランド、1998年10月26日－30日
- 第32回      ワシントン D.C.、1999年11月29日－12月4日
- 第33回      ワシントン D.C.、2000年10月23日－28日
- 第34回      タイ、バンコク、2001年10月8日－13日
- 第35回      フロリダ州オーランド、2003年1月27日－2月1日
- 第36回      ワシントン D.C.、2004年3月29日－4月3日
- 第37回      アルゼンチン、ブエノスアイレス、2005年3月14日－19日

**所掌範囲：**

- (a) あらゆる食品に適用可能な基本的な食品衛生規定の草案を作成すること<sup>37</sup>。
- (b) コーデックス個別食品部会が作成し、コーデックス個別食品規格に含まれる衛生規定

---

<sup>37</sup> 「衛生 (hygiene)」という用語には、食品の微生物規格 (microbiological specifications) と関連方法が必要に応じて含まれる。

を検討し、必要に応じて修正し、承認すること。

(c) コーデックス個別食品部会が作成し、コーデックス実践規範に含まれる衛生規定を検討し、必要に応じて修正し、承認すること。ただし、コーデックス委員会が別途決定を下した特殊な場合を除く。

(d) コーデックス個別食品部会の所掌範囲内であるか否かにかかわらず、個別の食品または食品群に適用可能な衛生規定の草案を作成すること。

(e) コーデックス委員会から課せられた具体的な衛生上の問題を検討すること。

(f) 国際レベルで微生物学的リスク評価が必要な領域を提示し、その優先順位を示し、さらにリスク評価者が採り上げるべき問題を提起すること。

(g) 食品衛生およびFAOとWHOのリスク評価に関係した微生物学的リスク管理の問題について検討すること。

#### コーデックス食品表示部会 (CX-714)

議長国：カナダ

会議：

第1回	オタワ、1965年6月21日－25日
第2回	オタワ、1966年7月25日－29日
第3回	オタワ、1967年6月26日－30日
第4回	オタワ、1968年9月23日－28日
第5回	ローマ、1970年4月6日
第6回	ジュネーヴ、1971年6月28日－29日
第7回	オタワ、1972年6月5日－10日
第8回	オタワ、1973年5月28日－6月1日
第9回	ローマ、1974年6月26日－27日
第10回	オタワ、1975年5月26日－30日
第11回	ローマ、1976年3月25日－26日
第12回	オタワ、1977年5月16日－20日
第13回	オタワ、1979年7月16日－20日
第14回	ローマ、1979年11月28日－30日
第15回	オタワ、1980年11月10日－14日
第16回	オタワ、1982年5月17日－21日
第17回	オタワ、1983年10月12日－21日
第18回	オタワ、1985年3月11日－18日

第 19 回	オタワ、1987 年 3 月 9 日－13 日
第 20 回	オタワ、1989 年 4 月 3 日－7 日
第 21 回	オタワ、1991 年 3 月 11 日－15 日
第 22 回	オタワ、1993 年 4 月 26 日－30 日
第 23 回	オタワ、1994 年 10 月 24 日－28 日
第 24 回	オタワ、1996 年 5 月 14 日－17 日
第 25 回	オタワ、1997 年 4 月 15 日－18 日
第 26 回	オタワ、1998 年 5 月 26 日－29 日
第 27 回	オタワ、1999 年 4 月 27 日－30 日
第 28 回	オタワ、2000 年 5 月 5 日－9 日
第 29 回	オタワ、2001 年 5 月 1 日－4 日
第 30 回	ハリファックス、2002 年 5 月 6 日－10 日
第 31 回	オタワ、2003 年 4 月 28 日－5 月 2 日
第 32 回	モントリオール、2004 年 5 月 10 日－14 日
第 33 回	マレーシア、コタキナバル、2005 年 5 月 9 日－13 日

**所掌範囲：**

- (a) あらゆる食品に適用可能な表示規定の草案を作成すること。
- (b) 規格・実践規範・ガイドラインの草案作成にあたるコーデックス部会によって作成された具体的な表示規定案を検討し、必要に応じて修正し、承認すること。
- (c) コーデックス委員会から課せられた具体的な表示上の問題を検討すること。
- (d) 特に宣伝文句や誤解を招くおそれのある記述を取り上げ、食品の広告宣伝に関連した問題について検討すること。

**コーデックス分析・サンプリング法部会 (CX-715)**

**議長国：ハンガリー（第 7 回会議以降）、ドイツ連邦共和国（第 1 回～第 6 回会議）**

**会議：**

第 1 回	ベルリン、1965 年 9 月 23 日－24 日
第 2 回	ベルリン、1966 年 9 月 20 日－23 日
第 3 回	ベルリン、1967 年 10 月 24 日－27 日
第 4 回	ベルリン、1968 年 11 月 11 日－15 日
第 5 回	ケルン、1969 年 12 月 1 日－6 日
第 6 回	ボン・バートゴータスベルク、1971 年 1 月 24 日－28 日



第7回	ブダペスト、1972年9月12日－18日
第8回	ブダペスト、1973年9月3日－7日
第9回	ブダペスト、1975年10月27日－31日
第10回	ブダペスト、1977年10月24日－28日
第11回	ブダペスト、1979年7月2日－6日
第12回	ブダペスト、1981年5月11日－15日
第13回	ブダペスト、1982年11月29日－12月3日
第14回	ブダペスト、1984年11月26日－30日
第15回	ブダペスト、1986年11月10日－14日
第16回	ブダペスト、1988年11月14日－19日
第17回	ブダペスト、1991年4月8日－12日
第18回	ブダペスト、1992年11月9日－13日
第19回	ブダペスト、1994年3月21日－25日
第20回	ブダペスト、1995年10月2日－6日
第21回	ブダペスト、1997年3月10日－14日
第22回	ブダペスト、1998年11月23日－27日
第23回	ブダペスト、2001年2月26日－3月
第24回	ブダペスト、2002年11月18日－22日
第25回	ブダペスト、2004年3月8日－12日
第26回	ブダペスト、2005年4月4日－8日

**所掌範囲：**

- (a) コーデックスの分析・サンプリング法に合った基準を設定すること。
- (b) 分析・サンプリング法や試験所の品質保証システムに関わる他の国際団体とコーデックスとを仲介する調整組織として機能すること。
- (c) 上記(b)に示す他団体から提示された最終的な推奨事項に基づき、コーデックス規格に適した、種々の食品に広く適用可能な標準的分析・サンプリング法を指定すること。
- (d) コーデックス（個別食品）部会が提案する分析・サンプリング法を適宜検討し、必要に応じて修正、承認すること。ただし、食品中の残留農薬や動物用医薬品の分析・サンプリング法、食品中の微生物学的品質と安全性の評価、食品添加物仕様の評価が、本部会の所掌範囲にあてはまらない場合を除く。
- (e) 必要に応じ、サンプリング計画やサンプリング手続きの策定を行うこと。
- (f) コーデックス委員会またはコーデックス部会から提示された具体的なサンプリング・

分析問題を検討すること。

(g) 食品試験所の技能評価および試験所の品質保証システムに関する手続き、プロトコール、ガイドライン、関連文書を設定すること。

#### コーデックス残留農薬部会 (CX-718)

議長国：オランダ

会議：

- |      |                         |
|------|-------------------------|
| 第1回  | ハーグ、1966年1月17日-21日      |
| 第2回  | ハーグ、1967年9月18日-22日      |
| 第3回  | アルンヘム、1968年9月30日-10月4日  |
| 第4回  | アルンヘム、1969年10月6日-14日    |
| 第5回  | ハーグ、1970年9月28日-10月6日    |
| 第6回  | ハーグ、1972年10月16日-23日     |
| 第7回  | ハーグ、1974年2月4日-9日        |
| 第8回  | ハーグ、1975年3月3日-8日        |
| 第9回  | ハーグ、1977年2月14日-21日      |
| 第10回 | ハーグ、1978年5月29日-6月5日     |
| 第11回 | ハーグ、1979年6月11日-18日      |
| 第12回 | ハーグ、1980年6月2日-9日        |
| 第13回 | ハーグ、1981年6月15日-20日      |
| 第14回 | ハーグ、1982年6月14日-21日      |
| 第15回 | ハーグ、1983年10月3日-10日      |
| 第16回 | ハーグ、1984年5月24日-6月4日     |
| 第17回 | ハーグ、1985年3月25日-4月1日     |
| 第18回 | ハーグ、1986年4月21日-28日      |
| 第19回 | ハーグ、1987年4月6日-13日       |
| 第20回 | ハーグ、1988年4月18日-25日      |
| 第21回 | ハーグ、1989年4月10日-17日      |
| 第22回 | ハーグ、1990年4月23日-30日      |
| 第23回 | ハーグ、1991年4月15日-22日      |
| 第24回 | ハーグ、1992年4月6日-13日       |
| 第25回 | キューバ、ハバナ、1993年4月19日-26日 |
| 第26回 | ハーグ、1994年4月11日-18日      |
| 第27回 | ハーグ、1995年4月24日-5月1日     |
| 第28回 | ハーグ、1996年4月15日-20日      |

第 29 回	ハーグ、1997 年 4 月 7 日－12 日
第 30 回	ハーグ、1998 年 4 月 20 日－25 日
第 31 回	ハーグ、1999 年 4 月 12 日－17 日
第 32 回	ハーグ、2000 年 5 月 1 日－8 日
第 33 回	ハーグ、2001 年 4 月 2 日－7 日
第 34 回	ハーグ、2002 年 5 月 13 日－18 日
第 35 回	ロッテルダム、2003 年 3 月 31 日－4 月 5 日
第 36 回	インド、ニューデリー、2004 年 4 月 19 日－24 日
第 37 回	ハーグ、2005 年 4 月 18 日－23 日

**所掌範囲：**

- (a) 個別の食品または食品群に含まれる農薬の最大残留限界を設定すること。
- (b) 国際的に取引される一部の動物飼料について、ヒトの健康保護のために認められる農薬の最大残留限界を設定すること。
- (c) FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議 (JMPR) の評価を受ける農薬の優先順位リストを作成すること。
- (d) 食品および飼料中の残留農薬測定のためのサンプリング・分析方法を検討すること。
- (e) その他、残留農薬を含む食品や飼料の安全性に関する問題を検討すること。
- (f) 個別の食品や食品群に含まれる、農薬と化学的に類似した、あるいはその他の類似性を有する環境汚染物質および産業汚染物質の最大限界を設定すること。

**コーデックス食品残留動物用医薬品部会 (CX-730)**

**議長国：米国**

**会議：**

第 1 回	ワシントン D.C.、1986 年 10 月 27 日－31 日
第 2 回	ワシントン D.C.、1987 年 11 月 30 日－12 月 4 日
第 3 回	ワシントン D.C.、1988 年 10 月 31 日－11 月 4 日
第 4 回	ワシントン D.C.、1989 年 10 月 24 日－27 日
第 5 回	ワシントン D.C.、1990 年 10 月 16 日－19 日
第 6 回	ワシントン D.C.、1991 年 10 月 22 日－25 日
第 7 回	ワシントン D.C.、1992 年 10 月 20 日－23 日
第 8 回	ワシントン D.C.、1994 年 6 月 7 日－10 日

- 第9回           ワシントン D.C.、1995年12月5日－8日
- 第10回          サンホセ（コスタリカ）、1996年10月29日－11月1日
- 第11回          ワシントン D.C.、1998年9月15日－18日
- 第12回          ワシントン D.C.、2000年3月28日－31日
- 第13回          サウスカロライナ州チャールストン、2001年12月4日－7日
- 第14回          ヴァージニア州アーリントン、2003年3月4日－7日
- 第15回          ヴァージニア州アレクサンドリア、2004年10月26日－29日

**所掌範囲：**

- (a) 食品中の残留動物用医薬品に関する検討事項について、その優先順位を決定すること。
- (b) かかる物質の最大推奨量を示すこと。
- (c) 必要に応じて実践規範を定めること。
- (d) 食品中の動物用医薬品残留量を測定するためのサンプリング・分析方法を検討すること。

**コーデックス食品輸出入検査・認証制度部会（CX-733）**

**議長国：オーストラリア**

**会議：**

- 第1回           キャンベラ、1992年9月21日－25日
- 第2回           キャンベラ、1993年11月29日－12月3日
- 第3回           キャンベラ、1995年2月27日－3月3日
- 第4回           シドニー、1996年2月19日－23日
- 第5回           シドニー、1997年2月17日－21日
- 第6回           メルボルン、1998年2月23日－27日
- 第7回           メルボルン、1999年2月22日－26日
- 第8回           アデレード、2000年2月21日－25日
- 第9回           パース、2000年12月11日－15日
- 第10回          ブリスベン、2002年2月25日－3月1日
- 第11回          アデレード、2002年12月2日－6日
- 第12回          ブリスベン、2003年12月1日－5日
- 第13回          メルボルン、2004年12月6日－10日

**所掌範囲：**

- (a) 消費者の健康を保護し、公正な貿易の実践を保証し、食料品の国際貿易を促進する統一された方法と手続きの観点から、食品輸出入検査認証制度の原則およびガイドラインを作成すること。
- (b) 食料品が種々の要件、特に法律に定める保健衛生上の要件を必要に応じて確実に満たすために輸出入国の所轄官庁が採る手段について、その適用原則およびガイドラインを作成すること。
- (c) 食料品が所定の要件を満たすための品質保証システム<sup>38</sup>について、その適切な利用に関するガイドラインを作成すること。また、2国間・多国間協定による食品貿易を促す上で、こうしたシステムへの認識を促すこと。
- (d) 各国が要請する公的証明書の書式・宣言内容・言語について、国際的統一を視野に入れたガイドラインおよび基準を作成すること。
- (e) 食品の輸出入管理に関する情報交換について勧告を行うこと。
- (f) 食品検査認証システムの問題を扱う他の国際団体と必要に応じて協議すること。
- (g) その他、コーデックス委員会から課せられた食品検査認証システムに関する問題を検討すること。

#### コーデックス栄養特殊用途食品部会 (CX-720)

議長国：ドイツ連邦共和国

会議：

- |      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 第1回  | フライブルク・イン・ブライスガウ、1966年5月2日－5日   |
| 第2回  | フライブルク・イン・ブライスガウ、1967年11月6日－10日 |
| 第3回  | ケルン、1968年10月14日－18日             |
| 第4回  | ケルン、1969年11月3日－7日               |
| 第5回  | ボン、1970年11月30日－12月5日            |
| 第6回  | ボン、1971年12月6日－10日               |
| 第7回  | ケルン、1972年10月10日－14日             |
| 第8回  | ボン・パートゴータスベルク、1974年9月9日－14日     |
| 第9回  | ボン、1975年9月22日－26日               |
| 第10回 | ボン、1977年2月28日－3月4日              |
| 第11回 | ボン・パートゴータスベルク、1978年10月23日－27日   |

<sup>38</sup> 品質保証とは、製品やサービスが品質面の所定の要件を満たしているという適切な信頼を築くために必要な、あらゆる計画的・体系的措置を意味する (ISO-8402「品質 - 用語集」)。

第12回	ボン・パートゴータスベルク、1980年9月29日－10月3日
第13回	ボン・パートゴータスベルク、1982年9月20日－24日
第14回	ボン・パートゴータスベルク、1985年1月24日－2月1日
第15回	ボン・パートゴータスベルク、1987年1月12日－16日
第16回	ボン・パートゴータスベルク、1988年9月29日－10月7日
第17回	ボン・パートゴータスベルク、1991年2月18日－22日
第18回	ボン・パートゴータスベルク、1992年9月28日－10月2日
第19回	ボン・パートゴータスベルク、1995年3月27日－31日
第20回	ボン・パートゴータスベルク、1996年10月7日－11日
第21回	ベルリン、1998年9月21日－25日
第22回	ベルリン、2000年6月19日－23日
第23回	ベルリン、2001年11月26日－30日
第24回	ベルリン、2002年11月4日－8日
第25回	ボン、2003年11月3日－7日
第26回	ボン、2004年11月1日－5日

**所掌範囲：**

- (a) コーデックス委員会から課せられた栄養に関する具体的な問題について検討し、栄養に関する一般的問題についてコーデックス委員会に助言を行うこと。
- (b) あらゆる食品の栄養学的側面について、一般規定の草案を適宜作成すること。
- (c) 必要に応じて他の部会と協力し、特殊用途食品に関する規格、ガイドライン、関連文書を作成すること。
- (d) コーデックス規格、ガイドライン、関連文書への記載が提案されている栄養面の規定を検討し、必要に応じて修正し、承認すること。

**コーデックスココア製品・チョコレート部会 (CX-708)**

**議長国：**スイス

**会議：**

第1回	ヌーシャテル、1963年11月5日－6日
第2回	モントルー、1964年4月22日－24日
第3回	チューリヒ、1965年3月10日－12日
第4回	ベルン、1966年3月15日－17日
第5回	ルガノ、1967年5月9日－12日

- 第6回 モントルー、1968年7月2日-5日
- 第7回 ホーゲン、(チューリヒ)、1969年6月23日-27日
- 第8回 ルツェルン、1970年6月29日-7月3日
- 第9回 ヌーシャテル、1971年9月27日-10月1日
- 第10回 ローザンヌ、1973年5月7日-11日
- 第11回 チューリヒ、1974年12月2日-6日
- 第12回 ビエンヌ、1976年11月1日-5日
- 第13回 アーラウ、1979年4月2日-6日
- 第14回 ローザンヌ、1980年4月21日-25日
- 第15回 ヌーシャテル、1982年3月29日-4月2日
- 第16回 トゥーン、1996年9月30日-10月2日
- 第17回 ベルン、1998年11月16日-18日
- 第18回 フリブール、2000年11月2日-4日
- 第19回 フリブール、2001年10月3日-5日

無期限休会中

**所掌範囲:**

ココア製品・チョコレートに関する世界規格を策定すること。

**コーデックス糖類部会 (CX-710)**

**議長国: 英国**

**会議:**

- 第1回 ロンドン、1964年3月3日-5日
- 第2回 ロンドン、1965年3月2日-4日
- 第3回 ロンドン、1966年3月1日-3日
- 第4回 ロンドン、1967年4月18日-21日
- 第5回 ロンドン、1968年9月10日-12日
- 第6回 ロンドン、1974年3月19日-22日
- 第7回 ロンドン、2000年2月9日-11日

無期限休会中。

**所掌範囲:**

あらゆる種類の糖類および糖製品に関する世界規格を策定すること。

## コーデックス加工果実・野菜部会 (CX-713)

議長国：米国会議：

- 第1回 ワシントン D.C.、1964年5月29日－30日
- 第2回 ローマ、1965年6月8日－11日
- 第3回 ローマ、1966年6月6日－10日
- 第4回 ワシントン D.C.、1967年6月19日－23日
- 第5回 ワシントン D.C.、1968年5月13日－17日
- 第6回 ワシントン D.C.、1969年5月12日－16日
- 第7回 ワシントン D.C.、1970年6月1日－5日
- 第8回 ワシントン D.C.、1971年6月7日－11日
- 第9回 ワシントン D.C.、1972年6月12日－16日
- 第10回 ワシントン D.C.、1973年5月21日－25日
- 第11回 ワシントン D.C.、1974年6月3日－7日
- 第12回 ワシントン D.C.、1975年5月19日－23日
- 第13回 ワシントン D.C.、1977年5月9日－13日
- 第14回 ワシントン D.C.、1978年9月25日－29日
- 第15回 ワシントン D.C.、1980年3月17日－21日
- 第16回 ワシントン D.C.、1982年3月22日－26日
- 第17回 ワシントン D.C.、1984年2月13日－17日
- 第18回 ワシントン D.C.、1986年3月10日－14日
- 第19回 ワシントン D.C.、1998年3月16日－20日
- 第20回 ワシントン D.C.、2000年9月11日－15日
- 第21回 テキサス州サンアントニオ、2002年9月23日－27日
- 第22回 ワシントン D.C.、2004年9月27日－10月1日

所掌範囲：

乾燥製品、乾燥豆類の缶詰、ジャム・ゼリー類を含むあらゆる種類の加工果実・野菜に関する世界規格を策定すること。ただし、干しプルーン、果汁・野菜ジュースは対象外とする。また、急速冷凍果実・野菜に関する規格改定も、コーデックス委員会から本部会に割り当てられた作業のひとつである。

## コーデックス油脂部会 (CX-709)

議長国：英国



**会議：**

- 第1回 ロンドン、1964年2月25日－27日
- 第2回 ロンドン、1965年4月6日－8日
- 第3回 ロンドン、1966年3月29日－4月1日
- 第4回 ロンドン、1967年4月24日－28日
- 第5回 ロンドン、1968年9月16日－20日
- 第6回 マドリッド、1969年11月17日－20日
- 第7回 ロンドン、1974年3月25日－29日
- 第8回 ロンドン、1975年11月24日－28日
- 第9回 ロンドン、1977年11月28日－12月2日
- 第10回 ロンドン、1978年12月4日－8日
- 第11回 ロンドン、1980年6月23日－27日
- 第12回 ロンドン、1982年4月19日－23日
- 第13回 ロンドン、1987年2月23日－27日
- 第14回 ロンドン、1993年9月27日－10月1日
- 第15回 ロンドン、1996年11月4日－8日
- 第16回 ロンドン、1999年3月8日－12日
- 第17回 ロンドン、2001年2月19日－23日
- 第18回 ロンドン、2003年2月3日－7日
- 第19回 ロンドン、2005年2月21日－25日

**所掌範囲：**

マーガリン、オリーブオイルを含む動物・植物・水産物由来の油脂に関する世界規格を策定すること。

**コーデックス食肉部会 (CX-717)**

**議長国：ドイツ連邦共和国**

**会議：**

- 第1回 クルムバッハ、1965年10月28日－30日
- 第2回 クルムバッハ、1966年7月5日－8日
- 第3回 クルムバッハ、1967年11月15日－17日
- 第4回 クルムバッハ、1969年6月18日－20日
- 第5回 ボン、1970年11月16日－20日
- 第6回 クルムバッハ、1971年11月1日－5日
- 第7回 クルムバッハ、1973年6月25日－29日

第 16 回コーデックス委員会総会にて解散（1985 年）。

**所掌範囲：**

牛肉、子牛肉、羊肉、子羊肉、豚肉の枝肉および部分肉の分類・記述・格付けに関する適切な世界規格、記述、および／または実践規範を策定すること。

**コーデックス食肉衛生部会（CX-723）**

第 8 回コーデックス委員会総会（1971 年）において、コーデックス食肉衛生部会として設立。第 24 回コーデックス委員会総会（2001 年）で、その所掌範囲に家禽肉を含めたことに伴い名称を変更。第 26 回コーデックス委員会総会（2003 年）で、部会名から家禽肉への具体的な言及を削除し、所掌範囲からも削除。

**議長国：**ニュージーランド

**会議：**

- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 第 1 回  | ロンドン、1972 年 4 月 10 日－15 日      |
| 第 2 回  | ロンドン、1973 年 6 月 18 日－22 日      |
| 第 3 回  | ロンドン、1974 年 11 月 25 日－29 日     |
| 第 4 回  | ロンドン、1981 年 5 月 18 日－22 日      |
| 第 5 回  | ロンドン、1982 年 10 月 11 日－15 日     |
| 第 6 回  | ローマ、1991 年 10 月 14 日－18 日      |
| 第 7 回  | ローマ、1993 年 3 月 29 日－4 月 2 日    |
| 第 8 回  | ウェリントン、2002 年 2 月 18 日－22 日    |
| 第 9 回  | ウェリントン、2003 年 2 月 17 日－21 日    |
| 第 10 回 | オークランド、2004 年 2 月 16 日－20 日    |
| 第 11 回 | クライストチャーチ、2005 年 2 月 14 日－17 日 |

無期限休会中。

**所掌範囲：**

食肉衛生の適切な世界規格および／または実践規範を策定すること。

**コーデックス食肉・家禽肉加工製品部会（CX-721）**

**議長国：**デンマーク

**会議：**

- 第1回 クルムバッハ、1966年7月4日-5日
- 第2回 コペンハーゲン、1967年10月2日-6日
- 第3回 コペンハーゲン、1968年6月24日-28日
- 第4回 コペンハーゲン、1969年6月9日-13日
- 第5回 コペンハーゲン、1970年11月23日-27日
- 第6回 コペンハーゲン、1972年4月17日-21日
- 第7回 コペンハーゲン、1973年12月3日-7日
- 第8回 コペンハーゲン、1975年3月10日-14日
- 第9回 コペンハーゲン、1976年11月29日-12月3日
- 第10回 コペンハーゲン、1978年11月20日-24日
- 第11回 コペンハーゲン、1980年9月22日-26日
- 第12回 コペンハーゲン、1982年10月4日-8日
- 第13回 コペンハーゲン、1984年10月23日-26日
- 第14回 コペンハーゲン、1988年9月12日-16日
- 第15回 コペンハーゲン、1990年10月8日-12日

第23回コーデックス委員会総会（1999年）にて廃止。

**所掌範囲：**

消費者向けに包装した食肉も含め、食肉加工製品および家禽肉加工製品に関する世界規格を策定すること。

**コーデックス魚類・水産製品部会（CX-722）**

**議長国：**ノルウェー

**会議：**

- 第1回 ベルゲン、1966年8月29日-9月2日
- 第2回 ベルゲン、1967年10月9日-13日
- 第3回 ベルゲン、1968年10月7日-11日
- 第4回 ベルゲン、1969年9月29日-10月8日
- 第5回 ベルゲン、1970年10月5日-10日
- 第6回 ベルゲン、1971年10月4日-8日
- 第7回 ベルゲン、1972年10月2日-7日
- 第8回 ベルゲン、1973年10月1日-6日
- 第9回 ベルゲン、1974年9月30日-10月5日
- 第10回 ベルゲン、1975年9月29日-10月4日

- 第 11 回 ベルゲン、1976 年 9 月 27 日－10 月 2 日
- 第 12 回 ベルゲン、1977 年 10 月 3 日－8 日
- 第 13 回 ベルゲン、1979 年 5 月 7 日－11 日
- 第 14 回 ベルゲン、1980 年 5 月 5 日－10 日
- 第 15 回 ベルゲン、1982 年 5 月 3 日－8 日
- 第 16 回 ベルゲン、1984 年 5 月 7 日－11 日
- 第 17 回 オスロ、1986 年 5 月 5 日－9 日
- 第 18 回 ベルゲン、1988 年 5 月 2 日－6 日
- 第 19 回 ベルゲン、1990 年 6 月 11 日－15 日
- 第 20 回 ベルゲン、1992 年 6 月 1 日－5 日
- 第 21 回 ベルゲン、1994 年 5 月 2 日－6 日
- 第 22 回 ベルゲン、1996 年 5 月 6 日－10 日
- 第 23 回 ベルゲン、1998 年 6 月 8 日－12 日
- 第 24 回 オーレスン、2000 年 6 月 5 日－9 日
- 第 25 回 オーレスン、2002 年 6 月 3 日－7 日
- 第 26 回 オーレスン、2003 年 10 月 13 日－17 日
- 第 27 回 南アフリカ、ケープタウン、2005 年 2 月 28 日－3 月 4 日

**所掌範囲：**

生鮮・凍結（急速冷凍を含む）その他加工したものも含め、魚類・甲殻類・軟体動物類に関する世界規格を策定すること。

**コーデックス食用氷部会（CX-724）**

**議長国：**スウェーデン

**会議：**

- 第 1 回 ストックホルム、1974 年 2 月 18 日－22 日
- 第 2 回 ストックホルム、1975 年 6 月 23 日－27 日
- 第 3 回 ストックホルム、1976 年 10 月 11 日－15 日

第 22 回コーデックス委員会総会（1997 年）にて廃止。

**所掌範囲：**

製造に使用する混合氷や粉末氷も含め、あらゆる種類の食用氷に関する適切な世界規格を策定すること。